

国土造りプロジェクト構想 3

～安全・快適で豊かな国土造りのために～

【外濠（市ヶ谷～飯田橋）地区再生プロジェクト】

～都心に開放的で快適な水辺空間を創出～



2022年3月

一般社団法人 日本プロジェクト産業協議会 (JAPIC)
国土・未来プロジェクト研究会

プロジェクト提言の背景

インフラストラクチャー研究会

- 中村英夫先生の発案と指導
- 建設コンサルタンツ企業の有志で発足
- 需要追随型から成熟社会でのインフラ整備を研究
- 欧米の成功事例に学ぶ
 - ⇒テーマ：「都市のリノベーション」
- 中央大学山田研究室、東京都市大学川口英俊研究室、建設コンサルタンツ協会、JAPICの協働支援体制で研究

研究事例：デュッセルドルフ（ドイツ） B1道路



**連邦道路B 1 (1989年)
ライン川河岸と都市を分断**

道路を地下トンネル化



河岸プロムナードへ変貌



プロジェクト位置図



都心にある緑豊かなオープンスペース



新宿区側

JR飯田橋駅

牛込濠

外堀通り

新見附濠

土手に沿った外堀公園

千代田区九段側

街と水辺の繋がりを遮断する外堀通り

◆丘陵部の閑静な住宅地と水辺空間との連続性が遮断される
= まちづくりにおいて特に重要な課題

新見附濠脇の外堀通り



外堀通りの一口坂交差点



外濠の劣悪な水質

- ◆ 関東地方の他の閉鎖性水域と比較しても**水質は劣悪**
(汚濁に強いコイ、フナが生息することも困難な水準)

新見附濠脇の外堀通り



アオコが発生する市ヶ谷濠

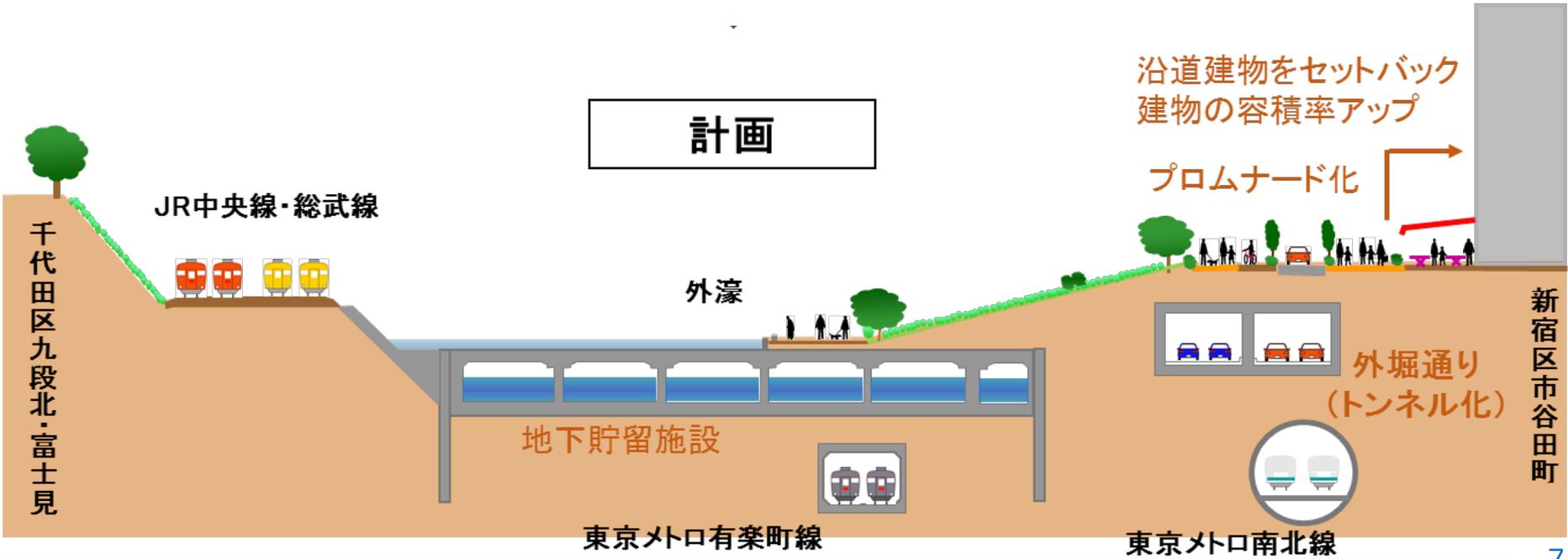


プロジェクト概要

現況



計画



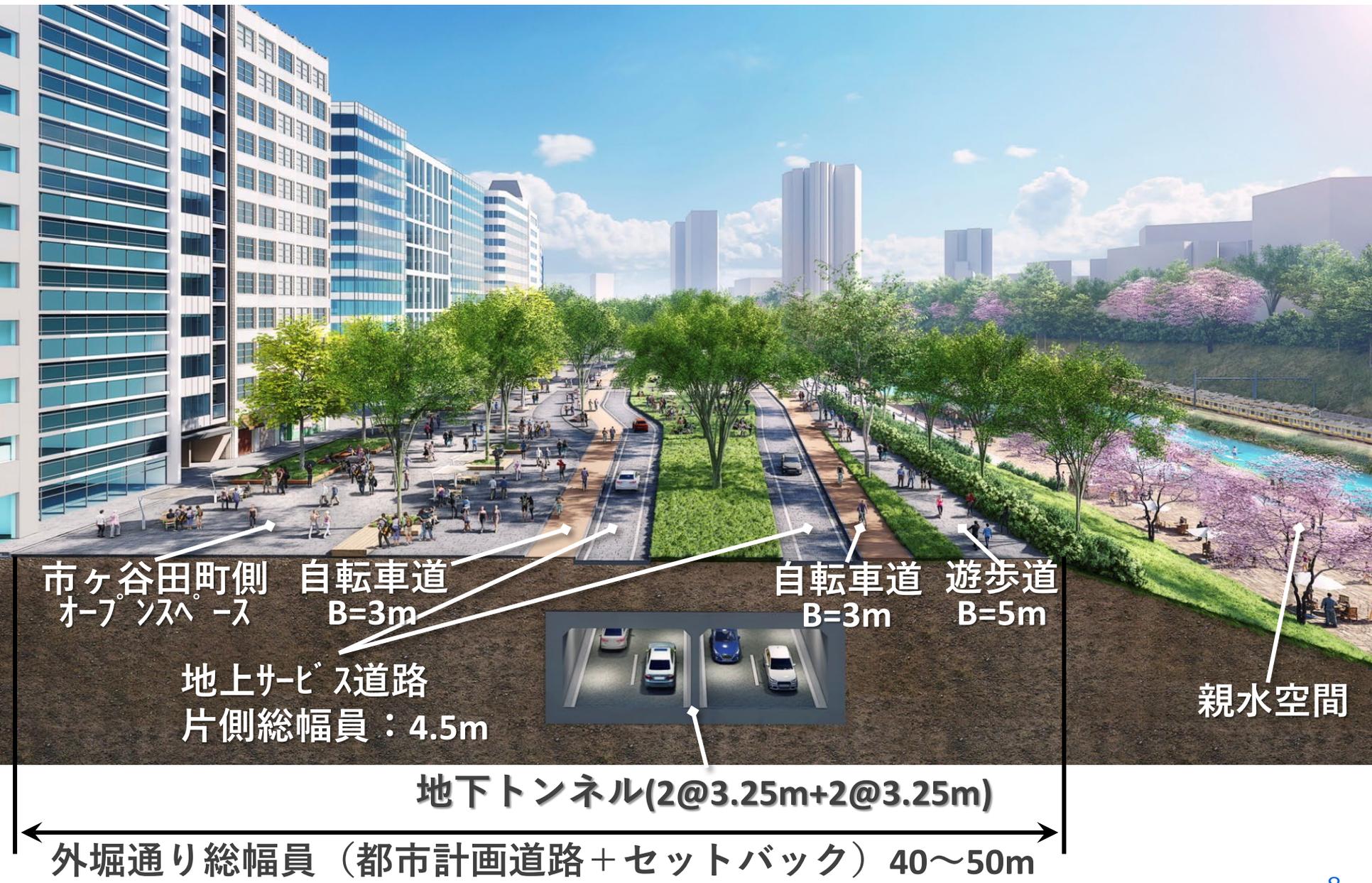
沿道空間の高度利用

沿道建物をセットバック
建物の容積率アップ

プロムナード化

外堀通り
(トンネル化)

計画断面イラスト



市ヶ谷田町側
オープンスペース

自転車道
B=3m

地上サービス道路
片側総幅員：4.5m



自転車道
B=3m

遊歩道
B=5m

親水空間

地下トンネル(2@3.25m+2@3.25m)

外堀通り総幅員 (都市計画道路+セットバック) 40~50m

完成予想CG(新見付濠)



完成予想CG(牛込濠)



概算事業費およびプロジェクト経済効果の試算

◆ 概算事業費

工事項目	概算工費
外堀通り地下トンネル	約650億円
外濠地下貯留槽	約300億円
トンネル上部道路及びプロムナード整備	約30億円
水辺空間整備	約20億円
主要部分の概算工事費合計	約1,000億円

◆ プロジェクト経済効果

事業効果	効果の予測金額
周辺環境の高質化	200億円
建物の不動産価値向上	300億円
③ 道路交通改善	250億円
④ 防災空間創出	35億円
⑤ 環境改善による便益	150億円

今後の課題

課題1：史跡における整備

- 対象地域は昭和31年、国史跡江戸城外堀跡として指定
- 歴史的遺産としての価値と新たなインフラの価値を両立させる都市の整備を

課題2：道路改良

- 現案は局所的であり、次世代の交通を見据えた広域的な道路ネットワークの検討が必要

課題3：民間事業者の参画促進

- 基盤となる道路、水辺整備を公共が行い、民間事業者の参画を促進するアイデアを

ご清聴ありがとうございました



完成予想CG（プロジェクトエリア俯瞰）

【外濠（市ヶ谷～飯田橋）地区再生プロジェクト】 検討者名簿

※敬称略

■チームリーダー

吉川 正嗣 （(株)建設技術研究所 顧問）

■メンバー

(50音順)

阿部 義典 （国際航業(株) インフラマネジメント事業部 道路計画担当部長）

石崎 晶子 （パシフィックコンサルタンツ(株)
経営戦略室 チーフプロジェクトマネジャー）

川口 英俊 （東京都市大学 都市生活学部 教授）

高木 博康 （(株)オリエンタルコンサルタンツ 関東支社 道路部 副部長）

竹澤 正太郎 （前田建設工業(株) 土木事業本部 副部長）

仁賀木 康之 （復建エンジニアリング(株) 事業推進部 部長）

見附 敬三 （(株)建設技術研究所 管理本部 副本部長）

森山 真稔 （(一社)建設コンサルタンツ協会 インフラストラクチャー研究所 研究員）

(注) ここでは提言書作成に参加頂いた企業・団体の代表者の方のみ記載しています。参加企業の他のメンバー、初期に参加頂いたメンバー、ご指導、ご協力頂いた有識者の方々、(一社)建設コンサルタンツ協会、(一社)日本プロジェクト産業協議会の関係者の方々には冊子P.30、P.32を参照ください。